

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習80%
時間数	240	作成者	渡辺杉子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン・縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、デザイナーにとって新しい素材、機器に通じていることはとても重要である。創新しい縫い方や異素材を取り入れ、縫製工程を分析し、作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの修得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	●プレタ展作品	61・62 ●革/ベルベットの縫製方法
3・4		63・64
5・6		65・66 ●上田学園コレクション作品
7・8		67・68
9・10		69・70
11・12		71・72
13・14		73・74
15・16		75・76
17・18		77・78
19・20		79・80
21・22		81・82
23・24		83・84
25・26		85・86
27・28		87・88
29・30	●テーラードジャケット	89・90
31・32		91・92 ●フォーマルドレス
33・34		93・94
35・36		95・96
37・38		97・98
39・40		99・100
41・42		101・102
43・44		103・104
45・46		105・106
47・48		107・108
49・50	●脇ゴム入リスカート	109・110
51・52		111・112 ●子供服
53・54		113・114
55・56		115・116
57・58		117・118
59・60	●レースの縫製方法	119・120

【成績評価方法】

課題作品 10点の評価60 %、 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版口

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版口

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	前期
コース	ファッションクリエイターデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習80%
時間数	60	作成者	渡辺 杉子

【科目の到達目標】

ドレーピングによる衣服の立体的な把握と、基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、新しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材になるよう技術を習

【科目の概要】

平面製図、CADなどパターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はととも重要である。各種デザインパターンへの理論的に展開し、トワールチェック後、ファーストパターン作成までの時間短縮に努める。サイズ展開の基本をグレーディング実習により体験する。

【授業計画】 90分/コマ

1・2	創作スカート パターンメイキング トワール作成
3・4	創作スカート トワールチェック
5・6	創作スカート ファーストパターン作製
7・8	子供服 オリジナルデザイン110c・120c 製図
9・10	子供服 オリジナルデザイン110c・120c トワール・ファーストパターン作製
11・12	ジャケットプリンセスライン4面体 テーラードカラー 二枚袖 作図
13・14	ジャケットプリンセスライン4面体 パターントレースチェック トワール組
15・16	ジャケットプリンセスライン4面体 表襟・見返し展開作成
17・18	創作(就職用) 作図・トワール組
19・20	創作(就職用) 作図・トワール組
21・22	創作(就職用) パターン作成 縫製仕様書作成
23・24	メンズジャケット 作図
25・26	メンズジャケット トワール組み立て
27・28	グレーディング 概論 タイトスカート
29	身頃原型
30	前期試験

【成績評価方法】

課題作品の評価60%
期末試験30%
授業態度10%

【教科書・参考書】

江副玲子「パターンメイキング3年」最新版 山路俊美「図解・紳士服の型紙の作り方」
梶尾純子「パターングレーディング」

【教材・教具】

製図用具一式 トワール組用具一式

科目名	ドレーピング	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースデザ		昼間
学年	3	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	渡辺杉子

【科目の到達目標】

ドレーピングによる衣服の立体的な把握、新しさと美しさを兼ね備えた商品作りのためのトワールを作成できる人材。

【科目の概要】

平面製図、CAD等パターンメイキングの手法が多様化する中で、素材の特性を感じながら実際にデザインをボディ上で形にする経験はとても重要である。ドレーピングにより、新しさと美しさを兼ね備えたトワールを作成し、プレゼンテーションする。

【授業計画】

90分/コマ

1・2 ●創作デザインヨークスカート

3・4

5・6 ●創作ワンピース

7・8

9・10

11・12 ●ドレープ襟コート

13・14

15・16 ●ギャザーのブラウス

17・18

19・20

21・22 ●創作ジャケット

23・24

25・26

27・28

29・30 後期試験

【成績評価方法】

課題作品評価 60%・・・評価シートによる 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング3年』最新版

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ファッションドローイングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	ヌード、顔、ヘア、手足の復習	31・32 全国ファッション画コンクール
3・4	アナライズ	33・34 ファッションクロッキー
5・6	就職対策(画材表現)	35・36 早描き
7・8	就職対策(ポージング)	37・38 アイテム画表現
9・10	就職対策(着装とハンイラ)	39・40 アイテム画表現
11・12	プレタ展の作品表現	41・42 アクセサリー表現
13・14	プレタ展の作品表現	43・44 アクセサリー表現
15・16	就職対策(パターンからデザイン)	45・46 アクセサリー表現
17・18	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	47・48 トータルコーディネート表現
19・20	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	49・50 加工指図書用のデザイン画表現
21・22	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	51・52 加工指図書用のデザイン画表現
23・24	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	53・54 創作ドローイングⅠ
25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	55・56 創作ドローイングⅠ
27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	57・58 創作ドローイングⅡ
29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)	59・60 創作ドローイングⅡ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	180	作成者	山田 浩之

【科目の到達目標】

商品をコレクションで企画出来る。
プラスアルファのデザインが出来る

【科目の概要】

商品を批判し、企画提案が出来る。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	2	デザインの指向と就職指導	31 32 大学とのコラボ企画(提案)・上田学園コレクションデザイン提案
3	4	プレタポルテのデザイン(市場研究)	33 34 大学とのコラボ企画(発表)・上田学園コレクションデザイン提案
5	6	プレタポルテのデザイン(ターゲット層)	35 36 素材産地コラボ企画(ニット、研究)
7	8	プレタポルテのデザイン(提案)	37 38 素材産地コラボ企画(ニット、提案)
9	10	奈良毛皮革コラボレーション企画(市場調査)	39 40 素材産地コラボ企画(ニット、研発表)
11	12	奈良毛皮革コラボレーション企画(提案)	41 42 2021SSトレンド分析① トレンドキーワード I
13	14	奈良毛皮革コラボレーション企画(発表)	43 44 2021SSトレンド分析② トレンドキーワード II
15	16	プレタポルテ作品集制作(構成)	45 46 2021SSトレンド分析③ ランウェイ注目アイテム
17	18	プレタポルテ作品集制作(制作)	47 48 2021SSトレンド分析④ カラー、モチーフ、ディテール
19	20	プレタポルテ作品集制作(発表)	49 50 2021SSトレンド分析⑤ シルエット、素材
21	22	播州織コラボ企画(調査)	51 52 ファッションニュース分析① ファッション業界分析 I
23	24	播州織コラボ企画(提案)	53 54 ファッションニュース分析② ファッション業界分析 II
25	26	播州織コラボ企画(発表)	55 56 ファッションニュース分析③ 2017/18AW分析
27	28	大学とのコラボ企画(研究)	57 58 ファッションニュース分析④ 2018SSコレクション分析
29	30	前期末テスト	59 60 後期末テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

『ユニバーサルデザインの教科書』日経BP 中川 聡 『ファッションデザインベーシック』BNN Richard Sorger & Jenny Udale 『ファッションデザインアーカイブ』株グラフィック社 高村是州 『ファッションデザインアイデアノート』グラフィック社 渡辺 直樹 ファッション週刊誌WWDジャパン

【教材・教具】

配布プリント 筆記用具 ハンガーイラストが描ける用具 電卓 画材

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	林 和子
【科目の到達目標】 企画業務全般、即戦力の構築			
【科目の概要】 市場調査を基本に商品企画、ポートフォリオ作成。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1,2	PC基本操作① イラストレーターの基本操作	31,32	3B3C合同プレゼン① 情報収集
3,4	企業デザインからマップ作成① 商品構成マップⅠ	33,34	3B3C合同プレゼン② ブランドビジョン設定
5,6	企業デザインからマップ作成② 商品構成マップⅡ	35,36	3B3C合同プレゼン③ ハンガーイラスト作成
7,8	PC基本操作② イラストレーター的应用Ⅰ 便利ツールとキャラクター	37,38	3B3C合同プレゼン④ プレゼン資料完成
9,10	ポートフォリオ作成 ①作品集	39,40	エクセル① 基本操作:表作成 基本編:領収書 指示書など作成
11,12	ポートフォリオ作成 ②作品集	41,42	エクセル② 基本操作:表作成 応用編:カタログ 企画書など作成
13,14	ポートフォリオ作成 ③作品集	43,44	エクセル③ 基本操作:表計算①
15,16	ポートフォリオ作成 ④作品集	45,46	エクセル④ 基本操作:表計算②
17,18	ポートフォリオ作成 ①企業用	47,48	パワーポイント① 基本操作Ⅰ
19,20	ポートフォリオ作成 ②企業用	49,50	パワーポイント② 基本操作Ⅱ
21,22	ポートフォリオ作成 ③企業用	51,52	ファッションニュース分析① 資料集め
23,24	ポートフォリオ作成 ④企業用	53,54	ファッションニュース分析② 構成設定
25,26	フォトショップ応用 表紙を作成①	55,56	ファッションニュース分析③ 分析結果のレイアウト設定
27,28	フォトショップ応用 表紙を作成②	57,58	ファッションニュース分析④ ファッション誌完成
29,30	前期末テスト	59,60	後期末テスト
【成績評価方法】 課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】 パソコン USBメモリー			

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	60	作成者	秦野知邦

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考えるグループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。

【授業計画】 前期

90分/コマ

前期		後期	
1	世界のコレクションとプロモーションについて	16	ファッションビジネスの魅力について
2	即戦力⇒企業が求める人材とは	17	SPAとOEMと総合商社と繊維商社について
3	プロフェッショナルについて	18	メーカーにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
4	セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA	19	ショップにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
5	タイプ別SPAのショップをリサーチする	20	アパレル市場とマーケティング(Ⅲ)
6	タイプ別SPAを比較して分析する	21	アパレル戦略のプロセス(Ⅲ)
7	就活用としてのリサーチ資料を作成	22	現状のマーケット市場のリサーチ
8	資料内容をグループミーティングでプレゼン	23	就活用としての資料を作成
9	ファッションビジネスのトレンドを追う	24	リサーチ内容をグループミーティング・プレゼン
10	ファッションビジネスのトレンドを検証する	25	百貨店・ファッションビル・路面店への販路は
11	ファッションブランド戦略について	26	トップ販売員について
12	ブランディング・ブランドエクイティについて	27	取引と取引条件について(Ⅲ)
13	即戦力としての計数知識	28	マーチャンダイジングの成果と計数
14	仕事への自覚と準備	29	ファッションビジネスの展望と課題(Ⅲ)
15	期末テスト	30	期末テスト

【成績評価方法】

- ・ 授業における評価 40%
- ・ プレゼンテーション 30%
- ・ 期末試験 30%

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】 90分/コマ

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースデザイン専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	高瀬博文

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】